

本地っ子

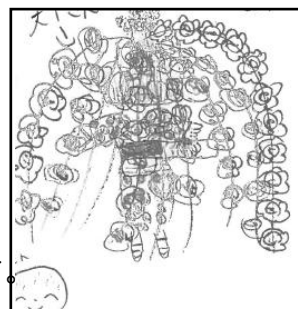
〈めざす子供像〉 本地が好きな子 K 考える子 T 伝え合う子 Y やってみる子

また、どんな理由があっても、誰かを傷つけることを言ったりしたりすることは絶対に許さないということと「あいさつ」をみんなで頑張って本地小を盛り上げていこうということも話しました。とても短い3学期ですが、子供たちが元気で充実した学校生活が送れますよう、これまで同様、保護者の皆様の温かいご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

[illegible]

本物にふれるということ

「大人の花笠を着けた大下さんが来られてとても興奮したこと」「本番大下さんと一緒に踊れて嬉しかったこと」「自分も花笠踊りが上手になれたらいいこと」「大下さんが大人の花笠衣装を着て出てくださってすごく盛り上がったこと」等々、感じたことを絵と文とでしっかり表現していました。心に強く響いたことは、感動となって表現されるものなのだと改めて思いました。大下さんが喜んでくださったなら幸いです。



5年生はものづくりマイスターさんととびきりおいしいハンバーグを作って食べるという体験をしました。町の教育委員会を通じて、広島県職業能力開発協会の企画によるものです。ねらいは、ものづくりマイスターと一緒に調理をすることにより、西洋料理人の仕事について理解を深め、ものづくりに興味を持ち、ものづくり現場での就業を意識させるということでした。ものづくりマイスター



さんは、澤村 収二先生で、黄綬褒章を受章され、11年間、広島市内の有名ホテル



で総料理長を務められた、すごい方です。子供たちは、澤村マイスターさんの卓越した技と優しくわかりやすい教え方と、そのお人柄に魅了されました。ハンバーグの味は、絶品だったようです！！ 澤村マイスターさんは、5年生の子供らしさと人懐っこさを褒めてくださいました。

6年生は、チョークアートの体験をした後、本地の中野 智渚さんの話を聴きました。



お礼の手紙の一部抜粋です。「一つのことに挑戦すると他のことにもつながって、自分が本当にやりたかったことが見つかるんじゃないかなと思いました。もっとお話がしたくなりました。『努力は必ず報われる』という言葉も信じて、あきらめずにやり続けようと思います。」

また、別の日には、同じく本地の伊勢坊 誠さんの話を聴きました。伊勢坊さんからは、特に「協力することの大切さ」「協力の素晴らしさ」を感じ取ったようでした。本地の地域の方々から、多くの刺激を受けて、感性を揺さぶられ、自分自身のこれからや生き方を見つめるかけがえのない時間になりました。本当にありがたいことだと感じています。



これからも、子供たちが自分の将来や生き方について考えるきっかけとなる場を作っていきたいと思います。

* 1月の主な行事予定 *

7(水)	3学期始業式 児童下校【13:30】 あいさつ運動
8(木)	スクールカウンセラー三好先生相談日 【13時～16時】
13(火)	ミニ絵本 (3・4年)
14(水)	避難訓練 (地震) PTA 運営委員会 (18時～) チヨの日 *メディアを減らして読書しよう！
17(土)	本地地区とんど (12時頃点火) 6年生が点火するそうです。
19(月)	書初め展 (30日まで)
20(火)	ミニ絵本 (1・2年)
23(金)	漢字検定【希望者：放課後】
27(火)	ミニ絵本 (5・6年)

